

# 平成29年度 学校関係者評価委員会の報告

学校関係者評価委員会 委員長 黒木 美枝

平成29年度の学校関係者評価の結果、以下のとおり報告いたします。

## I 重点目標について

富士中では、今年度も重点目標として「教育の質の向上を図り、確かな学力を育成する」「生活指導の充実に努め、豊かな人間性を育む」「地域教育基盤の確立と開かれた学校づくりをとおして、思いやりの心と地域への感謝の心を育成する」の3点を挙げ、それぞれに数値目標を設定しています。「教育の質の向上を図り、確かな学力を育成する」では学校関係者評価の肯定率80%以上を目標にしています。アンケートでの保護者の数値は昨年同様でした。ただし、独自項目（1）では、1/3程の親子共々が「意欲的に学習に取り組み、粘り強く学んでいる」とは思っていない結果でした。子どもたちが意欲的に学習できる授業の工夫をお願いします。また、保護者との三者教育面談や保護者会等、個々の学習習得状況の理解を更に深められるよう工夫に努めてください。「生活指導の充実に努め、豊かな人間性を育む」では学校関係者評価の「子どもたちに問題となる行動が見られることは少ない」の肯定率90%以上を目標にしています。地域の肯定率は目標をクリアしています。しかし、高い数値目標を設定していることもあり、保護者の肯定率はクリアできていません。今後も「人格の完成をめざして」の取り組みの継続に努めつつ、保護者が生徒の状況をより的確に把握できるよう、保護者会や学年便り等でのお知らせや周知徹底をお願いします。「地域教育基盤の確立と開かれた学校づくりをとおして、思いやりの心と地域への感謝の心を育成する」では保護者・地域ともに昨年同様プラスの肯定率でしたが、生徒の肯定率が下がり、目標をクリアできませんでした。今後も地域と連携したボランティア活動や体験活動への啓発を進めてください。

## II 地域とともに子どもを育てる教育について

地域運営学校に指定されて8年目になりました。クリーン作戦、避難所運営訓練、古着回収、グリーンアカデミー、挨拶運動や代沢地区文化スポーツ交流会等の地域活動・ボランティア活動をとおして、地域との交流を図っています。地域の方々と「出会い」、そこから「学び」「気付く」。出会った人の生き方や地域や社会で起きていることを知ることから、自分の生活や生き方を見つめ直す機会となっています。また「富士の学び舎」の教育活動は、「豊かな知力」「豊かな人間性」「健やかな身体、たくましい心」「ことばの力」を重点目標として取り組まれています。世田谷9年教育にのっとり小学校3校と富士中とで計画的に小中連携が行われており、活動は継続され、安定しています。「地域との連携について」のアンケート結果では、保護者の「学び舎の活動について、十分な情報が提供されている」の肯定率は上がりました。しかし、生徒の「学び舎の区立小学校との交流が活発である」についての数値は低く、更なる工夫が必要だと思われます。「学校協議会や合同学校協議会・学校運営委員会の十分な情報が提供されている」の保護者に関しては昨年よりプラスになっています。ホームページに関することも保護者・地域ともに昨年よりプラスになって改善されています。広報活動や情報発信により一層の努力をお願いします。

## III 未来を担う子どもを育てる教育について

富士中は学習の「質と量」を常に大切にしています。質としては、数学・英語における「少人数習熟度別授業」の実施、全教員による授業研究・授業観察を実施し、指導方法の工夫に取り組んでいます。併せて各教科において「ICT活用授業」の推進を図っています。量としては、授業時数の確保に努めています。さらに、放課後学習・夏季補習教室や富士サタスタ、区土曜講習会・朝学習(2・3年生)等も定着しています。また、職場体験学習は2年生を対象に42の事業所の御協力を得て、9月に実施されました。地域社会の実践の場に立つことは、社会の一員としての自覚を促し、社会性や勤労観・職業観が育

まれるとともに挨拶や時間を守ることの大切さ等、社会生活を送るために必要なマナーやルール等を学べる重要な場となっています。

スクールカウンセラーによる相談活動の充実を図る取り組みの認知度は昨年とほぼ同様で、個に応じた対応ができます。また「富士中だより」に毎回載っている情報は大人にも役立ちます。さらに、富士中でも「いじめ防止プログラム」を1年生対象に実施しており、重点目標である「確かな学力を育成する」ことや「豊かな人間性を育む」こと、これら「質と量」を大切にする取り組みは、今後も維持に努めてください。また、昨年より地域の方々の御協力により毎週水曜日の放課後、図書館開放が始まりました。地域の方々の御協力に感謝いたします。

## IV 信頼と誇りのもてる学校づくりについて

「学校公開や保護者会をとおして、学校の様子がよくわかる」の保護者の数値はほぼ昨年同様でクリアできています。今後も生徒・保護者の理解を深められるよう更なる努力・工夫をお願いします。また、ゲストティーチャーの講義は毎年工夫されており、進路指導やキャリア教育とともに多面的な成長に欠かせないエッセンスになっています。安全管理については、安全確保の向上に向け地域、保護者、学校の共通の認識を更に深めるための工夫・改善を引き続きお願いいたします。学校運営の今後の取り組みに、より一層の努力をお願いします。

## V 教育環境の整備について

冷水器は2・3年生の階にも設置の要望が出ています。また校庭がでこぼこで危険であるとのご指摘も出ています。まだ未設置の教室へのエアコン設置や図書室の整備なども含め、子どもたちが安心・安全な生活ができるよう、施設・設備の充実に向け、引き続きご検討ください。

## VI 学校評価委員会の総合所見

評価委員会としては、まず先生方の日常の努力に感謝いたします。

- 1 教職員による自己評価報告書を見ると、内容も具体的です。学校が地域の学校として意欲的に取り組んでいることが分かります。
- 2 セーフティーチャー教室や情報モラルの授業に関しては、生徒・保護者・地域とも80%以上の評価を得ています。定期的に行われている安全指導や避難訓練、地域との連携による避難所運営訓練、災害時対応などの保護者への情報提供、校内現況や衛生面など、学校の安全性に対しての数値は、昨年度に比べ、地域の数値は下がったものの非常に高く、保護者の数値は上がりました。保護者・地域の方々とともに、安心・安全な学校づくりへ更なる努力と、密な連携をお願いします。
- 3 生徒たちは富士中が好きで誇りをもっており、楽しく学校生活を送っていることが分かります。学校行事についての「学校行事を楽しみにしている」では、生徒・保護者共に高い数値です。今年度のアンケートでは数値が昨年より下がった「進路に関する情報が十分提供されている」「先生は、誰に対しても公平である」については、今後の工夫と改善の努力をお願いいたします。生徒たちにとって最大の教育環境は教師自身の姿そのものであり、人間としての豊かさや広い分野での教養を求められると思います。学習面でも「質と量の確保」をこれからも続けていただくとともに、生徒たちと向き合う時間の確保にも尽力をお願いしたいと思います。また、各御家庭・地域の皆様におかれましても、手本となる良き家庭環境・地域環境として温かく子どもたちを見守っていただきたいと思います。

- 4 保護者による「さよなら、声かけ当番」は、今年で18年目になりました。わが子だけではなく、地域の子どもたちの様子を知る良い機会となっています。「子どもたちを見守る」この素晴らしい取り組みを、ぜひ継続していただきたいと思います。
- 5 今年度も、夏の部活動合宿は蓼科で実施されました。校長先生を初め、先生方や外部指導員、看護師の方々等、支えてくださいました関係者の皆様に感謝いたします。
- 6 学校を取り巻くいろいろな環境が、年々、整備かつ改善されていることを評価いたします。なお、継続する課題につきましては、引き続き検討をお願いします。

学校関係者評価委員会	委員長	黒木 美枝
	委 員	渡邊 真弓
	委 員	横光 香里
	委 員	中村 説子
	委 員	三島 祥子
	委 員	森 奈弓